

令和5年12月4日
北九州自動運転推進ネットワーク
(事務局:(公財)北九州産業学術推進機構)

報道機関各位

北九州空港～JR朽網駅間の自動運転バス実証実験がスタート！ キックオフセレモニー・マスコミ向け試乗体験会を行います！

北九州市内外の企業、大学及び行政で構成する「北九州自動運転推進ネットワーク」では、自動運転に関する新ビジネスの創出や社会実装等に向けた活動を行っております。

このたび、当ネットワークでは、会員である西鉄グループが中心となり、バスの運転士不足対策や北九州空港の機能強化を図るため、12月11日(月)から、北九州空港～JR 朽網駅間において、自動運転レベル2(特定条件下での自動運転機能)での実証運行を行い、新たな技術の開発などに取り組むこととなりました。

今回の実証は、国内有数のバス事業者である西鉄グループと、国内最大手のバスメーカーであるいすゞ自動車が出資を組み、今後の社会実装を目指した本格的な体制となっており、全国的にも注目度の高い実証実験となっています。

つきましては、実証実験のキックオフセレモニー及びマスコミ向け試乗体験会を開催しますので、是非、取材にご来場いただきたく、ご案内申し上げます。

1 キックオフセレモニー・試乗体験会(マスコミ対象) 別紙1のとおり

2 実証実験概要 別紙2のとおり

【問合せ先】

1 キックオフセレモニーについて
(公財)北九州産業学術推進機構
自動車産業支援センター
担当部長:畑間 担当課長:柿添
TEL:093-695-3685

2 試乗体験会、実証実験に関することについて
西日本鉄道(株)
広報・CS推進部 広報課
担当:野口、中村
TEL:092-734-1383

キックオフセレモニー・試乗体験会

1 日時 令和5年12月11日(月) 15:15~17:00

2 場所 北九州空港 スターフライヤー本社 (ANNEX 2階会議室)

3 主な参加者(敬称略)

西日本鉄道(株) 専務執行役員 清水 信彦
西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長 安田 堅太郎
北九州市 市長 武内 和久
北九州市議会 議長 田仲 常郎
九州運輸局 自動車技術安全部 部長 福島 和則
A-Drive(株) 代表取締役社長 岡部 定勝
(株)YE DIGITAL 執行役員マーケティング本部長 田原 圭一郎
九州工業大学、(公財)北九州産業学術推進機構
合計 約30名

4 当日のスケジュール(案)

(1) キックオフセレモニー

① 15:15~15:30

挨拶 西日本鉄道(株) 専務執行役員 清水 信彦
挨拶 北九州市 市長 武内 和久
挨拶 北九州市議会 議長 田仲 常郎
挨拶 九州運輸局 自動車技術安全部長 福島 和則
事業説明(西日本鉄道(株)によるプレゼン、5分間)

徒歩で移動(スターフライヤー本社→自動運転バス)

② 15:32~15:35

記念撮影(自動運転バス前)

③ 15:35~15:40

スマートバス停視察(自動運転バス付近、5分間)

④ 15:45~16:05

関係者向け試乗体験会(20分間)

⑤ 16:05~16:10

関係者(西日本鉄道(株)日高部長、北九州市武内市長)による囲み取材
(→終了後、担当者が質問にお答えします。)

(2) マスコミ向け試乗体験会

16:35~17:00 報道機関各社の皆様に、「関係者向け試乗体験会」と同じコースで実際にご乗車いただきます。

集合場所：

(株)スターフライヤー様 本社 ANNEX 玄関前



走行時間：約20分 走行距離：約10km

ユニ・チャーム(株)様の手前より左折し、「トヨタ九州苅田」交差点(信号あり)から空港に戻ります。(本来の実証実験コースを短縮した経路)

マスコミ向け試乗体験会の申し込みについて

▼以下 URL または QR コードから申し込みフォームにアクセスしていただき、必要事項を入力の上、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/wApTKT26kQ>



【申し込み締切：12月7日（木）15時まで】

※参加者変更などにより 2 回目の登録を行った場合は、その変更内容を「備考」欄にご入力ください。

※申込後に参加をキャンセルされる場合は、恐れ入りますが事前にご連絡いただくと幸いです。

自動運転バス「北九州空港～JR朽網駅」における実証運行〔概要〕

【実証期間】 令和5年12月11日(月)～22日(金)
(土日を除く10日間)

※関係者のみ試乗

【車両】 路線バスタイプ 1台(いすゞ製 ERGA)

【走行区間】 北九州空港～朽網駅 約10.5km(25分)

※西鉄グループは、令和2年に同じルートにて自動運転バス実証を行いました。今回はその結果も踏まえ、3D マップ技術など新たなテクノロジーを導入し、更なる知見蓄積を図ります。



車両イメージ

【自動運転レベル】 レベル2

(参考)各自動運転レベルの概要

レベル	概要	運転手の介入
1	運転支援 (加速・操舵・制動のいずれかをシステムが行う)	必要
2	特定条件下での自動運転機能 (加速・操舵・制動の複数をシステムが行う)	必要
3	条件付自動運転 (加速・操舵・制動の全てをシステムが行う)	必要
4	自動運転 (システムのみで運行可、遠隔監視による無人運転も可能)	不要

【おもな関係者】

団体名	当事業での役割
西日本鉄道(株)	実証走行管理、遠隔監視の実施等
西鉄バス北九州(株)	車両運行、日常整備
いすゞ自動車(株)	自動運転バスの開発・提供
アイサンテクノロジー(株)	自動運転用3D マップ作製等
(株)ティアフォー	自動運転システム開発
(株)マップフォー	自動運転システム開発
(株)YE DIGITAL	スマートバス停の設置
A-Drive(株)	事業の計画立案、事務局運営
九州工業大学	自動運転システムの新技術開発
国土交通省	事業支援
北九州市	国などとの調整
(公財)北九州産業学術推進機構	全体調整

※当事業は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転実証調査事業)」及び(公財)北九州産業学術推進機構の「研究開発プロジェクト支援事業」を活用し、実施されます。

【参考1】運行ルート図(1日6往復予定)



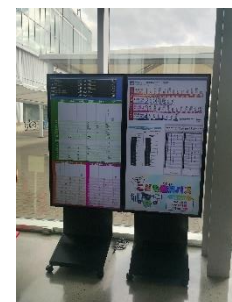
【参考2】産学連携の取組み

九州工業大学、アイサンテクノロジー(株)、西鉄グループが連携し、熟練バス運転士の暗黙知を組み込み可能にする論理知識型 AI を活用した革新的危険情報検知システム(先読み運転)を共同研究。



【参考3】産産連携の取組み

バス利用者の利便性等を高める目的で、(株)YE DIGITALの「スマートバス停」を空港ビル内に設置。今回の自動運転バスと、多言語交互表示や、JR 朽網駅時刻表/空港発車バス運行情報の表示等で連携。



【参考4】北九州自動運転推進ネットワーク

- ・ 設 立 令和3年6月
- ・ 目 的 自動運転分野への新規企業等の参画を図り、研究機関と連携することで、新ビジネスの創出を図るとともに、自動運転の社会実装の実現を目的とする
- ・ 主な活動内容
マッチング(産学・産産連携による技術開発・共同研究を仲介)、講演会、勉強会、先進地への視察、各種調査
- ・ 会 員 産官学20機関

産	西日本鉄道(株)、西鉄バス北九州(株)、BOLDLY(株)、先進モビリティ(株)、第一交通産業(株)、日本信号(株)、愛知製鋼(株)、(株)ゼンリン、(株)YE DIGITAL、(株)ラック、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)、(株)アポロジャパン、A-Drive(株)、EV モーターズ・ジャパン(株)
学	九州工業大学、北九州市立大学、広島大学
官	福岡県商工部自動車・水素産業振興課、企画・地域振興部交通政策課 北九州市産業経済局次世代産業推進課、建築都市局都市交通政策課 (公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)【事務局】